

# Murofessional 2nd ~勇気~

(むろふえっしょなる セカンド)

vol. 2

R 3.5.7 文責：村田典子

夢  
を持ち  
を育み  
を叶える

~大津町学校教育ビジョン基本理念~

## 保護者面談・学級懇談会 お世話になりました

昨年度は、「担任の先生の顔が分からない」「担任と話をしていない」という声を多く聞きました。子どもを育てると同じ目標がありながら、連携が難しかったという課題がありました。今年、玄関先での家庭訪問も考えましたが、ゆっくり話ができる保護者面談にいたしました。

学校まで足をお運びいただき、そして貴重なお話をさせていただき、ありがとうございます。とても有意義な時間だったと思う担任の思いと感謝の気持ちをお伝えします。また、学級懇談会もお世話になりました。

コロナ禍の中ではありますが、昨年度よりも、着実に進めているように思います。

## 一人1台タブレット

子供たちは、手にとり、わずかな時間で見事に使いこなします。私などは、まだ用語に慣れず、「ん？何？」の状態です…。

現段階では、学校で触れる、慣れる。来週末には持ち帰って、ご家庭での接続を確認していただく予定です。但し、2年生以上です。

Wi-Fi環境のないご家庭につきましては、町からルーターが貸与されます。準備が整い次第ご連絡しますので、申し訳ありませんが、もう少々お待ち下さい。

## “ハイブリッドの運営システム”~令和3年度の挑戦

グランドデザインは、裏面に印刷させていただきました。見づらくて申し訳ありません。(HPにも掲載しています)

学校教育目標、本校として重点的に育成を目指す6つの資質・能力は、昨年度の継続で掲げておりますが、本年度は新たに「教師と児童が学校を動かす~ハイブリッドの運営システム~“児童が主役の学校を本気で具現化”」という方針を加えました。「子供が主役」「子供を主語に」とは言うものの、教師の指示が多すぎて、子供たちの行動や判断の「自ら(主体的)」の場面を保障できていなかったのでは、子供たちの可能性を広げられていたのか…という反省からです。

具体的には、「ハイブリッド」の形を示すものとして、“子どもこうむぶんしょう”を策定しました。私たち職員には、校務分掌表という役割分担表があります。その教師の役割分担と児童会の仕事を関連づけ、ともに学校を動かそうという目的の下整理したものです。これは、本校の清永主幹教諭が作成し、児童会の子どもの意見を聴いて仕上げました。ですから、右下には、「児童会企画委員会監修」と書かれています。



この監修に当たった企画委員長のコメントを紹介します。

★先生たちがこうやって動くのも初めて知りました。「子どもこうむぶんしょう」を見て、委員会ってすごいなー！や、先生たちはすごいなー！と思う人が多いと思います。今年最高学年として企画委員長として先生と私たちが協力し、ハイブリッドで室小をよりよい学校にしていきたいです(竹永真心)

この“室小ハイブリッド”の提案を受け、運動会実行委員会を立ち上げました。メンバーは、体育・保健・企画・放送の各委員長と赤白の各団長、教員は児童会担当、体育主任等、さらにPTA代表のお二人です。子どもと大人が運動会の目的を共有し、協議しながら合意形成をしていく、保護者も巻き込んで一緒に運動会を創り上げる、そんなロードマップを描いていました。…が、運動会は延期としましたので、数ヶ月間じっくり醸成してよりよいものに…。9月が楽しみです。